

山下 洋先生 講演会

成人期の発達障がいを持つ人への支援

～ 生物学的治療の現状 ～

成人期の発達障がいを持つ人は思春期以降成人期に精神的二次障がいを生じ、それを契機に高機能自閉症・アスペルガー症候群等の発達障がいと診断され、さまざまな症状を抱えて苦しんでいる人も多い状況です。

この度は、九州大学病院で発達障がい児・者の診断や治療に携わってこられた山下洋先生をお招きして「成人期の発達障がいを持つ人への支援」というテーマでお話をさせていただくことになりました。この機会に是非ご参加下さい。

～・～・～・～ 山下 洋先生からのメッセージ ～・～・～・～

発達障がいを持つ人のライフサイクルを通じた支援が求められています。ライフサイクルのなかでも思春期から青年期の移行期の支援や成人期の支援に際しては医療機関が関わる問題も多く見られます。そこで今回は、医療から見た発達障がいを持つ人のニーズということで、併存障害の実態と対応、精神科薬物療法の現状などについてお話致します。

講師 山下 洋先生 (紹介は裏面に記載)

九州大学病院 精神科神経科 子どものこころの診療部 特任講師

日時 2011年12月10日(土) 受付 9:30 開始 10:00 終了 12:30

場所 福岡市立心身障がい福祉センター(あいあいセンター)7階大研修室

定員 120名 定員になり次第締め切らせていただきます

参加費 一般 1,000円 当日受付にてお支払い下さい。

後援 福岡市

社会福祉法人福岡市社会福祉事業団 福岡市発達障がい者支援センター

社会福祉法人福岡市社会福祉事業団 福岡市立心身障がい福祉センター

山下 洋先生のご紹介

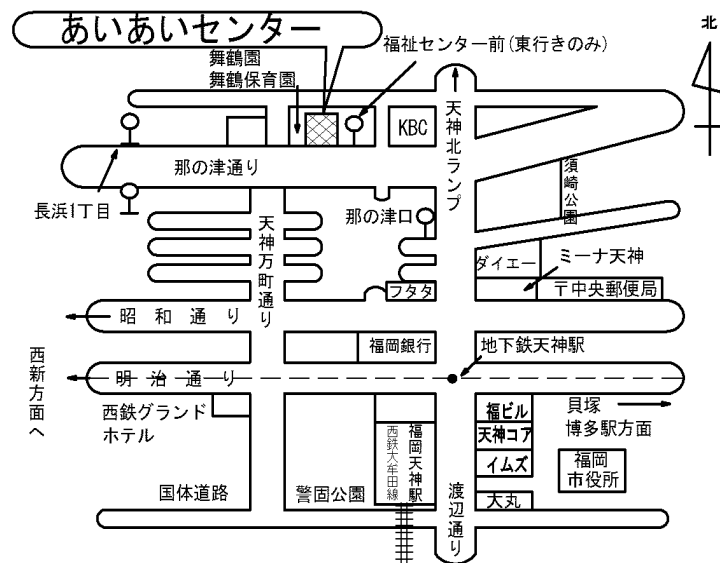
九州大学病院 精神科神経科 子どものこころの診療部 特任講師。
 医学博士。精神保健指定医。日本児童青年期精神医学認定医。九州大学医学部卒業。
 福岡県立太宰府病院、国立肥前療養所勤務などを経て現職。

(臨床研究領域)

- ・ 強度行動障がいを持つ発達障がい児や強迫神経症、トウレット障がい、家庭内暴力など思春期情動行動障がいを持つ子どもの治療に従事し、行動療法や家庭療法の立場から臨床研究。
- ・ 厚生省班研究に参加し、子どもの発達と情動行動障がいに関する母子相互作用及び母親のメンタルヘルス関連についての臨床研究。
- ・ 現在、九州大学病院精神科児童研究室にて周産期、母子精神保健、児童精神医学に関する臨床研究を継続。
- ・ 業績、著書多数

☆地図 福岡市立心身障がい福祉センター（あいあいセンター）

☆所在地：福岡市中央区長浜 1-2-8 (KBC から西へ徒歩 2 分)



受講申込書

フリガナ			所属	保護者(団体名)	
氏名				支援者	職場名・職種
連絡先	TEL	FAX	携帯		
住所	〒				

※ご記入頂いた個人情報は講演会等の実施に必要な事柄のみ使用します。

申し込み先 TEL/FAX 高島 092-845-6615 田中 0940-32-7220
 問い合わせ先 TEL 田中 0940-32-7220